

地域経済活性化の未来と希望

現在、地域づくりに関し、最も活発な動きがみられる越前市にスポットをあて、地域づくりの現状と課題から、同地域で今後求められる地域づくり戦略を考えます。

越前市は、第二次産業の工業出荷額が県内1位となっており、1500年を超える歴史と文化を有し、観光面についても多くの地域資源・宝が潜在しています。

また、ものづくりに加え、交流人口増大をふまえた観光客のおもてなしを新たな地域づくりと捉え、今後の地域活性化について考えるフォーラムを開催いたしますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■ 基調講演テーマ

「政治・経済・社会のチェンジとチャンス」

参加無料

現在、100年に一度の経済不況に入り、何が変化し、何が変わろうとしているか。迷路に入った時代は、一度原点から考え、新たな未来への希望と夢を切り拓くことが大切になります。そのキーワードは、経済活性化の視点と文化経済といった二つの流れがあります。

越前市の地域力は、こうした経済と文化の地域資源が埋蔵されており、活かされる戦略と戦術を考える。そこには、既存からのチェンジとチャンスの二つの鍵が秘められています。



基調講演 坂田 守正氏
デザイン文化科学研究所 所長

福井県立大学 地域経済研究所/客員研究員

県内地域を中心に地域資源を活かしたデザイン研究・開発に取り組む。また、地域活性化のソフト戦略や商品開発のアドバイザーを多数務めている。地域計画、建築デザイン、商品開発などを手がけ、商工会議所をはじめ県内各支援機関の専門アドバイザー、デザインコンサルタントも務める。

■ パネルディスカッションテーマ

「越前市における観光政策と活性化への戦略と戦術」

【コーディネーター】

坂田 守正氏 デザイン文化科学研究所/所長

【コメンテーター】

南保 勝氏 福井県立大学 地域経済研究所/准教授

福井地域経済経営研究所経済調査課長を経て、2000年4月より、福井県立大学地域経済研究所へ、主な著書『地場産業と地域経済』晃洋書房、『地域産業発達史』同友館、『地方小都市の産業振興戦略』新評論、『超優良企業の経営戦略』同友館、『データでみる地域経済入門』ミネルヴァ書房など。

【パネラー】

西本 久美子氏 料亭うおとめ/若女将

越前市の料亭うおとめの若女将。奈良市出身。近畿大学卒業後、京都市内の日本教育旅行株式会社に総合職として入社。企画・営業・添乗、イベント企画にも携わる。2000年に結婚し、現在の若女将の修業を始める。「一期一会」を再び帰らざることを心して、おもてなしを心がけている。今年度のたけふ菊人形で成果を得た「おもてなし隊」の事前研修や、中学3年生150人対象「おもてなしについて」の研修を担当した。

若女将の四季折々日記(okami-kumiko.com)を通して、越前の情報発信を行っている。日本酒やワインと会席料理をコラボレーションした季節のイベント企画も手がけている。

【パネラー】

武内 昭子氏 NPO法人男女平等推進協会えちぜん/主任

女性と男性がお互いに支え合い、社会のいろいろな分野で、生き生きと活躍することができる「男女共同参画社会」をつくるための活動拠点、NPO法人男女平等推進協会えちぜんで主任を務める。また、「e-lifeえちぜんや」の事務局も担当し、平成20年2月にe-lifeえちぜんやが実施した武生パレスホテル宿泊者100人を対象の越前市来訪者アンケート結果をもとに、越前市で製造したお菓子7品種の「越前いとおかし」をプロデュース。まちづくりに女性の視点を投入する重要性をリサーチや実践を通して訴えている。

【パネラー】

美濃部 武則氏 (株)ワイヤレスブロードバンド/代表取締役

前職はNTT西日本-北陸福井支店ソリューション営業部SE部長だったが、平成20年5月地域情報化コンサル、ワイヤレスブロードバンドサービスの企画等を行う株式会社ワイヤレスブロードバンドを設立。越前の歴史・文化・食・遊・店など地域資源を満載したポータルサイト「越前ファンクラブ」から情報発信し、越前市への人の流動を創出すると共に、通販コーナーから、越前ブランドの首都圏、大都市圏への広がりや定着、地域経済活性化を視野に入れて活動している。

● お問い合わせ先

福井県立大学 地域経済研究所(福井キャンパス内)
TEL:0776-61-6000(内)6202 FAX:0776-61-6017
E-mail:keiken@fpu.ac.jp